



白頭学院建国中高等学校伝統芸術部

# 新春記念公演「夢舞」

1月8日、大阪／住吉区民センター



白頭学院建国中高等学校(李鐘建校長、大阪市住吉区遠里小野二―三―一三)伝統芸術部の新春記念公演「夢舞」が一月八日、大阪市立住吉区民センター(大阪市住吉区南住吉三―一五―五六)で行われた。地域住民を中心に学

校関係者を含めた九〇〇名が鑑賞し大盛況だった。中高生と思えぬハイレベル芸域の舞台演技は驚嘆と感動を誘い、会場に称賛の声が渦巻いた。特に、中学生部員によるセウオル号の鎮魂を主題とした現代ダンスは、伝統芸術の枠を超えたもので目を見張るものがあった。今回の建国中高等学校伝統芸術部の公演「夢舞」は、民族のうちに閉じることのない祈りと生命の横溢を、生きる喜びを表現することに成功した作品であるといえよう。||写真

白頭学院の高敬弼理事長は「伝統芸術部は我が校の誇りで、建国を代表するクラブ活動です。幾多の国内外の大会に参加して抜群の成績を残しているだけでなく、昨年は民団京都が主催した朝鮮通信使行列の先頭を務めるなど同胞社会と学校との架橋の役割を果たしております。生徒たちの演技は自分のルーツを見つめ探す旅であり、活動を通じて生徒たちが成長していく様を見るのが楽しみです。」などと語った。永年にわたり生徒たちを指導してい

る車千代美先生は「今回は昨年、二度にわたり国立南道国楽院(全羅南道珍島)の演技指導を受ける機会があり、珍島で流し、あの世への道が平穏であることを願う神秘の島・珍島の伝統儀式を学んだ。今回は、難しい演目でしたがセウオル号海難事故で犠牲になった高校生たちの無念を晴らし、事故のことが風化し人々から忘れ去られることがないよう、同世代の高校生が祈る心で作品に挑戦した。」と語った。